

留萌市黄金岬海浜公園

留萌市は『自然と調和する中で、人々がよるこびといきがい創造する都市』の実現を目指し、創造的なまちづくりを進めてきました。黄金岬は、沖に沈む夕陽の美しさと、世界三大波濤の一つに数えられる荒々しい波で有名ですが、周辺環境はかならずしも美しいとはいえないのが現状でした。そこで、留萌市では市道西海岸線道路の工事に伴ない、より美しい、より愛される黄金岬を目指し、留萌市黄金岬海浜公園整備事業を行なっています。

あなたが選ぶ北海道景勝地で全道5位に入選

生まれかわる黄金岬

『空を染めて陽が沈む、黄金と呼ばれる岬がある』四季折々の表情をもつ黄金岬、冬は、世界の3大波濤の一つに数えられるほどの厳しい顔を見せ、春から秋にかけては、旅人をやさしく迎え、日本海に沈む夕日は赤く、大きくまさに絶景。その黄金岬が、海浜公園として装いも新たにデビューすることになりました。

留萌市は二百年あまり前から、皆さんの開拓者が集まってここに街を作り今日の留萌市を築いてきました。その人たちは自然の厳しさも優しさも十分知っていたと思います。



市長からのメッセージ

「二十一世紀を担う子供たち」に、美しい自然を伝えていきます。

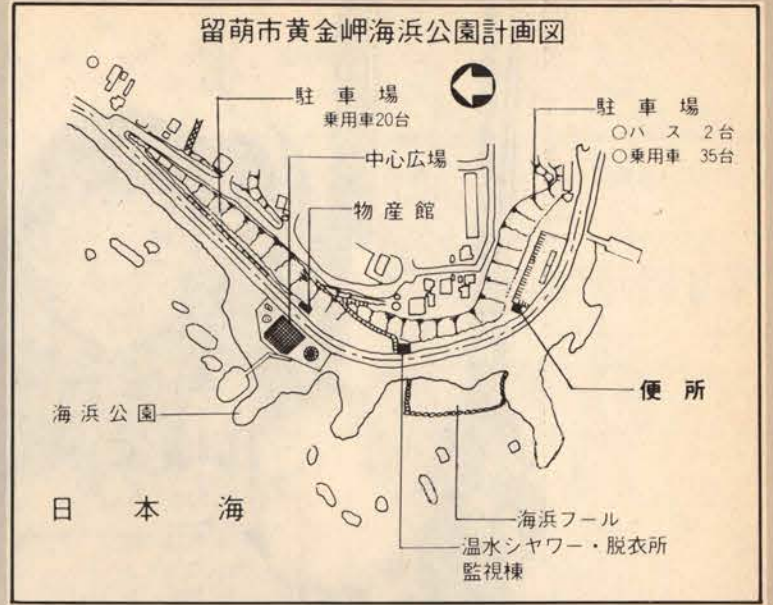
留萌市では、国道二三一号線の開通に伴ないオロロンラインの中継地として黄金岬を観光開発の拠点とすべく整備計画を進めています。市街地に近い所に岩場のある岬、日本一の夕日が落ちる岬として市民に親しまれている黄金岬を自然のままの状態に残せる公園にしたいというのは私だけの願いでなく、市民の願いだと思います。私が、夢と希望をつちかい、語りあつた黄金岬は先人が守り私たちに残してくれました。私たちも「二十一世紀を担う子供たち」に黄金岬を伝えていかなくてはならないと思っています。

中心広場

子供から若者、老年男女に至るまで幅広い観光客の憩いの場として大型の休憩所、子供たちの遊戯施設等を設置して、広域的に利用してもらおう中心広場。黄金岬で行なわれる“密陽まつり”等色々な行事、イベントなど多目的に利用出来る様な広場になります。

海浜プール

黄金岬の海は、急に深みがあり海水浴に適さない海ですが、海浜プールが出来ることにより、家族づれで黄金岬に来て、泳いだり、カニを取ったり安心して遊ぶことが出来るようになります。



物産館

物産館は、鉄筋コンクリート2階建て、建物の正面を全面耐久性ガラスを張り、物産館内のどの位置からも、すばらしい“日本一の夕陽”を眺めることが出来る様創意工夫された建物。海水浴シーズンはもとより冬季間にいたるまで、数多くの観光客に利用される様期待されています。

館内は、1・2階の物産展示場、階段周辺のホールは一般観光客の休憩所として天候に左右されることなく、シーズン通して利用できます。



物産館完成予想図

便所

公衆便所と言えば、きたないと言うイメージがありますが、海浜公園の便所は、水洗式で、外壁には黄金岬の夕陽を想像させるセラミックブロックを張った近代的便所です。